

**第5回飯沼地区意見交換会**

**「新たな地域コミュニティ」の  
実現に向けて**

**令和7年2月22日**

# 目次

## 01 第4回意見交換会の振り返り

## 02 意見交換会を継続する理由

## 03 市が推進する「地域コミュニティ協議会」とは —事例紹介— 豊田地域コミュニティ協議会準備委員会

## 04 「地域コミュニティ協議会」設立に向けて動き出してみませんか？

## 05 ワークショップ

# 今日の話し合いのルール

ROPES

R	お互いを尊敬し、尊重すること
O	心を開いて
P	話したくないときは「パス」といっていい
E	共感と興味をもって/ワクワクしながら
S	みんなが安心してお話しできるように/自分の気持ちに素直に/思ったことを伝える/ユーモアをもって

# 01\_\_第4回意見交換会の振り返り

## 誘い方のコツ

1. お互いを知り合い、つながりをつくる
2. 緊急性・背景を伝える
3. 活動に参加してもらえるかをはっきりと聞く
4. 参加を約束してくれたら、仕事と責任をお願いする

実践できましたか？



参考：COJテキスト

## 02\_\_意見交換会を継続する理由

### ① 地域の現状

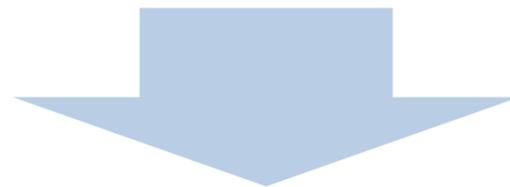
近隣市等への転出超過と人口減少  
超高齢社会（高齢化率↑・出生率↓）に移行  
単身・核家族世帯の増加

### ② 地域の課題

地域活動の担い手不足  
役員の負担増  
コミュニティの希薄化  
ライフスタイルや価値観、地域課題の多様化

### ③ 地域の今後への不安

10年後、20年後私たちのまちはどうなっていくのか？  
大規模災害が起こったら助け合える体制はできてるのか？  
お祭りなどの伝統文化を継承していけるのか？  
子供や高齢者の見守りは誰がやってくれるのか？



**様々な不安を解消し、誰もが将来にわたって安心安全で住みよいまちにするため、  
子供から高齢者まで世代を超えた方が集まって対話をする場を設けるために意見交換会を継続**

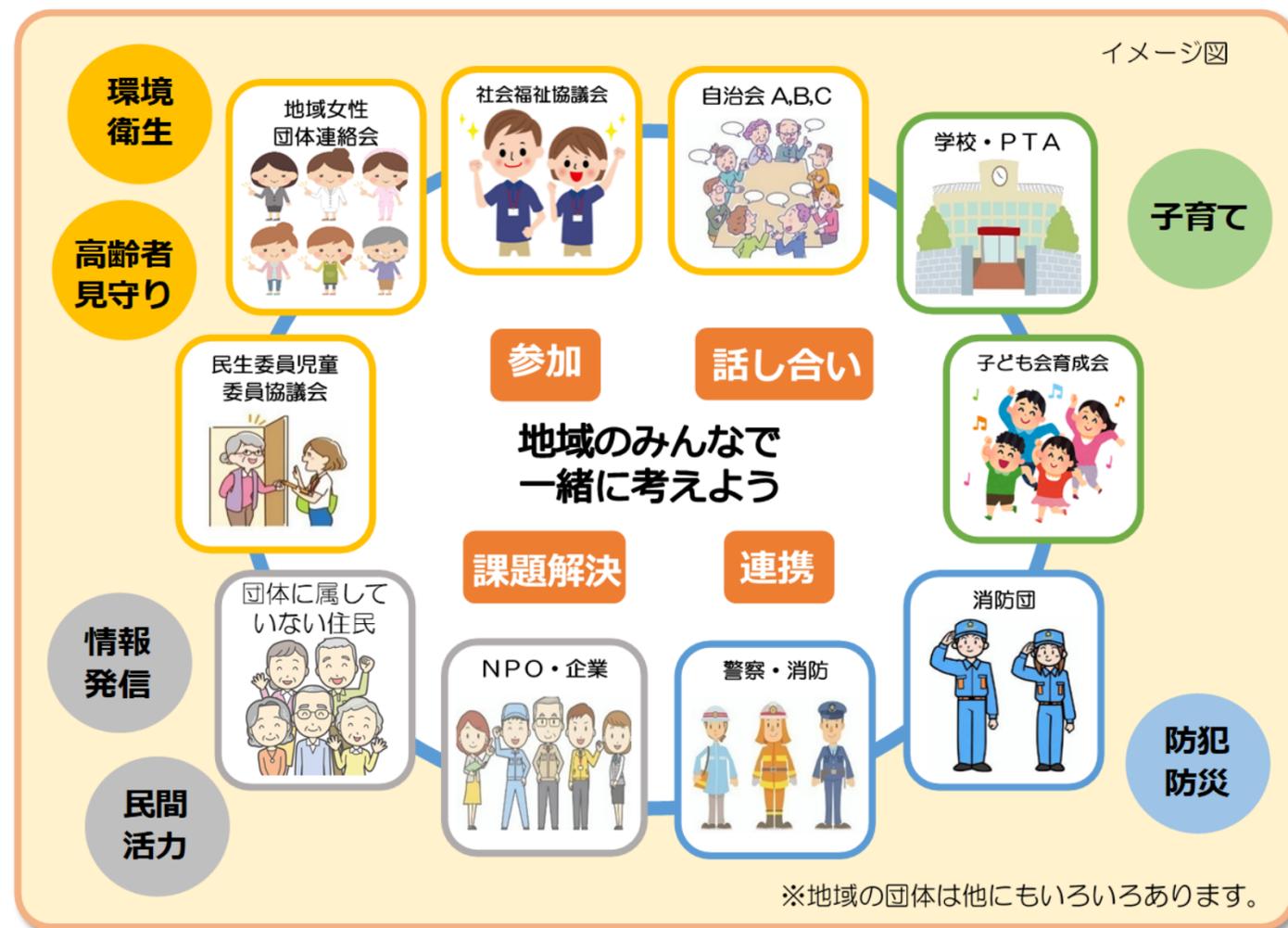
# 03\_\_市が推進する「地域コミュニティ協議会」とは

多様化、広域化する課題に継続的に対応するため、地域内で個別に活躍している個人や団体同士が横につながることによって「連携」し、地域にとって必要なことを「話し合い」、各種団体だけでは対応できない地域の「課題解決」に向けて取り組む一体的な活動を推進する仕組みです。

負担軽減

活動の効率化

活動の継続



地域との関わり

生きがい

つながり

# 地域コミュニティ協議会の基本的な取り組み

- ・ 地域課題、住民の困りごとを情報共有し、解決に向けてできることから実行
- ・ 地域資源を再確認し、活用について話し合う
- ・ 多様な住民の参加を促す
- ・ 地域内外への情報発信を行う など

**例**

**第1回意見交換会**  
どんなまちに住みたい？

地域の交流があるまち

**第2回意見交換会**  
地域でできること

ボッチャ大会で交流

外国籍の方との  
つながりを作る

**第3回意見交換会**  
連携できる団体

シルバークラブ+子供会

地域+外国籍の方が働いている企業

# 地域コミュニティ協議会設立のメリット

- ・地域の課題が情報共有できます
- ・地域の未来を話し合う機会をつくることができます
- ・地域の困りごとを自分たちで解決できます
- ・新たな人材の発掘に繋がり、担い手不足が解消できます
- ・組織がつながることで、役員の負担軽減に繋がります

# 市の支援

市も3つの視点で参加します



ひと

- ・ 地域と行政の橋渡し・調整
- ・ 協議会設立準備から設立・運営への参加

拠点

- ・ 活動拠点の検討
- ・ 公共施設等の活用の検討

資金

- ・ 組織運営、事業実施に対する補助金の検討

# <事例紹介> 豊田地域コミュニティ協議会準備委員会

令和7年4月協議会設立を目標に活動しています

地域の  
機運づくり  
・人材発掘

## 第1回～第3回意見交換会を実施



令和4年から地域の課題の洗い出しや課題解決に向けた意見交換を行ってきました。

地域コミュニティ協議会の  
立ち上げ準備  
1

## 準備委員会設立に向けて地域内で協議（検討会）

準備委員会の規約、事業計画、予算の検討  
協議会設立に向けた準備委員会設立



令和5年12月から発起人6名で6回集まって打合せを重ねました。

地域コミュニティ協議会の  
立ち上げ準備  
2

## 地域コミュニティ協議会設立に向けて準備委員会で協議（準備委員会）

規約・事業計画・予算、試行的な運営・活動の検討

令和6年7月発起人から声を掛け、賛同した41名で準備委員会を設立しました。

今、ここです！

地域コミュニティ協議会の  
設立・活動

## 地域コミュニティ協議会を立ち上げて活動を開始

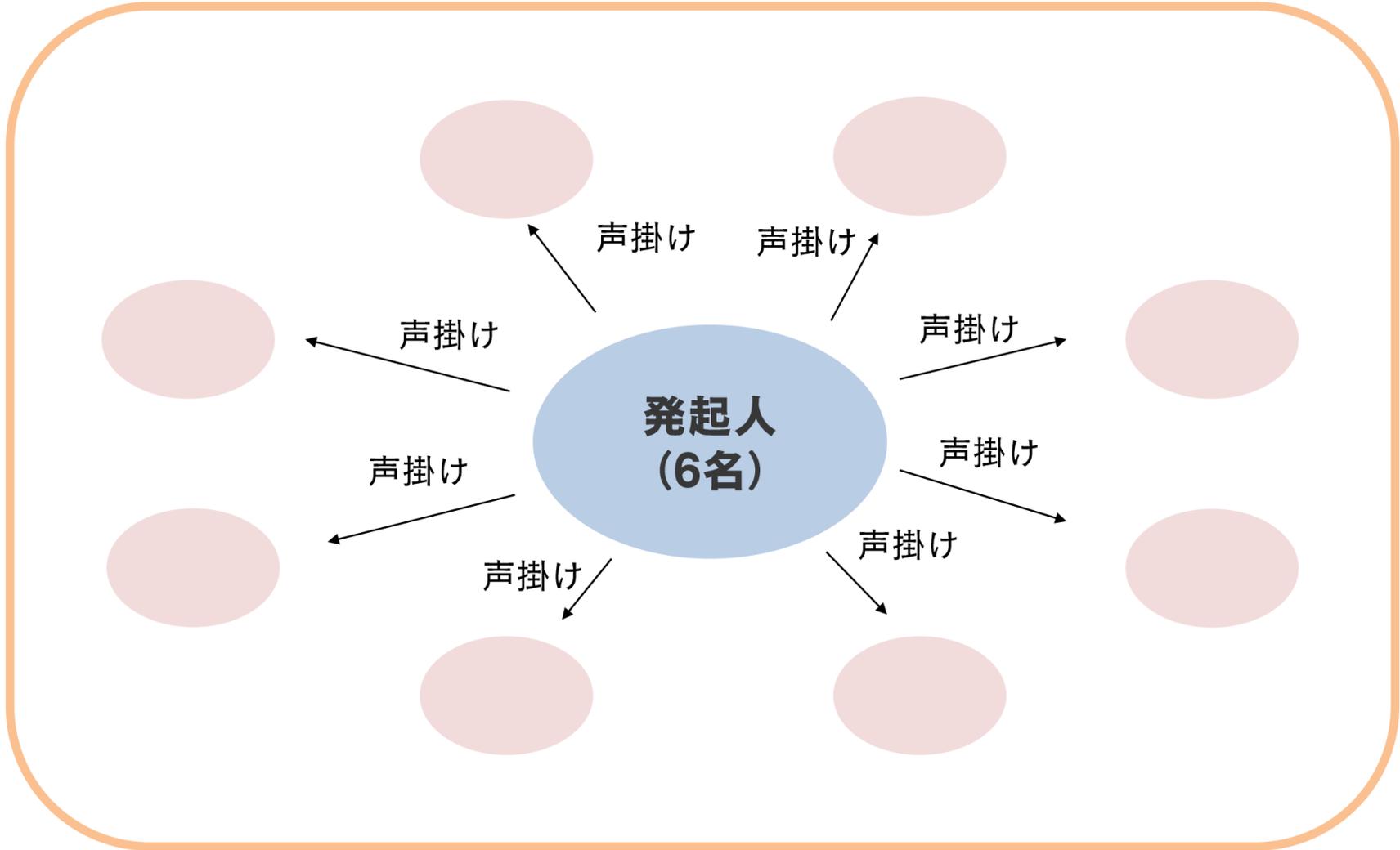
地域コミュニティ協議会設立総会  
地域の課題解決のための話し合い・活動の実施



協議会設立に向けた検討及び準備委員会の試行的な活動として、令和7年3月「桜まつりin豊田」開催に向けて話し合いを重ねています。

# (1) メンバーの集め方

地域コミュニティ協議会の  
立ち上げ準備  
1



準備委員会メンバー (41名)

## (2) 準備委員会設立に向けた協議の詳細（令和5年12月～令和6年7月）

地域コミュニティ協議会の立ち上げ準備  
1

日にち	参加者	打合せ内容	人数
令和5年12月19日 ～令和6年4月11日	発起人	<b>第1回～第6回発起人打合せ</b> 第1回：地域コミュニティ協議会設立に向けての説明 第2回：メンバーへの声掛け方法について 第3回：上郷市街地活性化協議会との意見交換会 第4回：準備委員会メンバーの洗い出し、声掛け 第5回：準備委員会メンバーへの声掛け報告、今後のスケジュールについて 第6回：意見交換会の事前打合せ	6名
令和6年4月21日	発起人から声掛けしたメンバー	<b>第1回検討会</b> 発起人から地域コミュニティ協議会設立の必要性を説明し、協議会設立の賛同を得る	37名
令和6年5月24日	発起人	<b>第7回打合せ</b> 組織の名称や準備委員の検討	6名
令和6年6月8日	発起人から声掛けしたメンバー	<b>第2回検討会</b> 組織の名称決定、準備委員の選出、今後のスケジュールについて	30名
令和6年6月22日	発起人	<b>第8回打合せ</b> 準備委員会設立総会の内容検討	3名
令和6年7月28日	発起人から声掛けしたメンバー	<b>準備委員会設立総会</b> 準備委員会規約、役員、事業計画、予算等の承認	31名

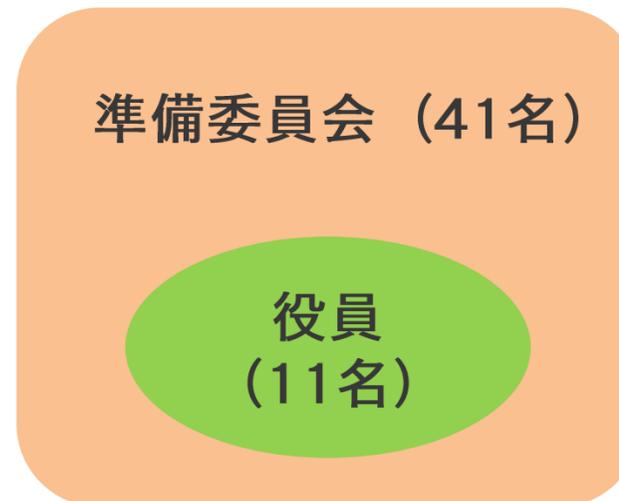
### (3) 準備委員会における協議会設立に向けた協議（令和6年8月～）

日にち	参加者	打合せ内容	人数
令和6年8月5日 ～9月29日	役員	<b>第1回～第5回役員会</b> 第1回：今後のスケジュール 試行的な活動（桜まつりin豊田）について 第2回：桜まつりの現地確認、内容について 第3回：桜まつりの内容、補助金申請について 第4回：桜まつりの内容、補助金申請について 第5回：桜まつりの内容、補助金申請について	11名
令和6年10月6日	準備委員会	<b>第1回準備委員会</b> （桜まつりの事業内容について承認）	
令和6年11月～	準備委員会	桜まつりの実施に向けた準備協議会設立に向けた協議	



地域コミュニティ協議会の立ち上げ準備 2

<メンバー構成>



# 04\_\_ 飯沼地区で「地域コミュニティ協議会」設立に向けて動き出してみませんか？

## 飯沼地区の現状

地域の  
機運づくり  
・人材発掘

第1回～第5回意見交換会を実施

今、ここです！

地域コミュニティ  
協議会の  
立ち上げ準備  
1

準備委員会設立に向けて地域内で協議（検討会）

準備委員会の規約、事業計画、予算の検討  
協議会設立に向けた準備委員会設立

地域コミュニティ  
協議会の  
立ち上げ準備  
2

地域コミュニティ協議会設立に向けて準備委員会で協議

規約・事業計画・予算、試行的な運営・活動の検討

地域コミュニティ  
協議会の  
設立・活動

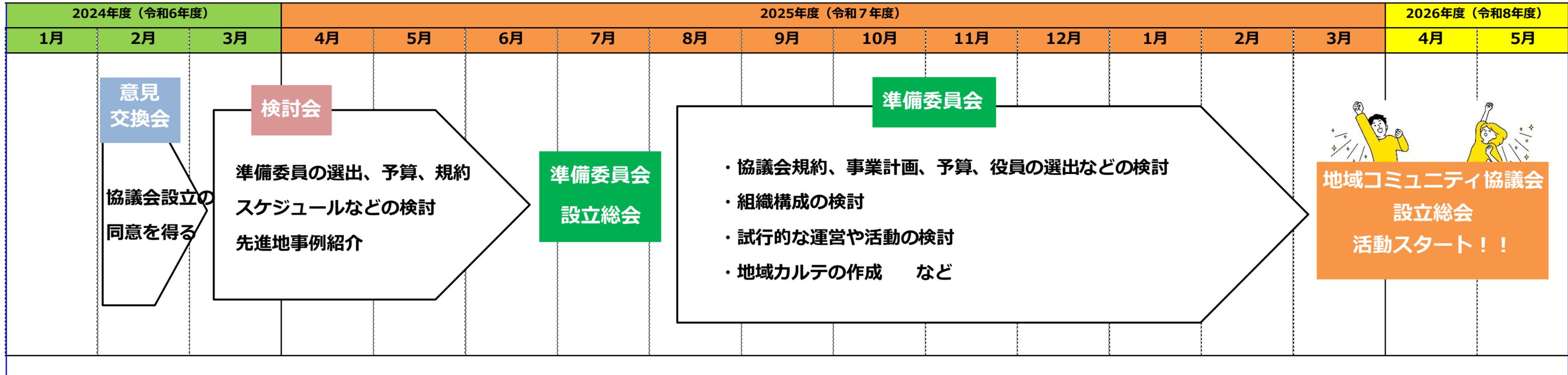
地域コミュニティ協議会を立ち上げて活動を開始

地域コミュニティ協議会設立総会  
地域の課題解決のための話し合い・活動の実施



「地域の課題」  
「こんなまちに  
したい」という  
地域の将来への  
想いを情報共有  
しました。

# 飯沼地区 地域コミュニティ協議会設立に向けたスケジュール（案）



## 05\_\_ワークショップ

**地域コミュニティ協議会で活動したい取組み  
(=地域ビジョン) を考えてみましょう！**



# 陽東地区 まちづくりビジョン



私たちが暮らす陽東地区をさらに明るく住みやすいまちにしていけるため、陽東地区まちづくり協議会では3年間で全16回のビジョン策定委員会を開催して地域の課題やその対応策について討論を重ね、ここに「陽東地区まちづくりビジョン」として取りまとめました。

陽東地区まちづくり協議会  
陽東地区地域ビジョン策定委員会

地域の目指す姿

令和2年(2020年)3月

住んでよかった ずっと住みたい このまち 陽東

## 4. 生活環境の改善

テーマ  
課題

### 課題

- 1) LRTによる車・人の動きの変化とそれに伴う騒音・排気
- 2) 平出工業団地からの臭いや粉じん対応
- 3) ごみ出しマナーの改善

### 対応(まちづくり協議会)

◇騒音や排気等の問題が生じた場合にはWeb(ウェブ)等で投書を受け付け、必要に応じ、市と協議の場を設け適切な対応を要請していく。

◇平出工業団地からの異臭等については、住民からの情報を市へ伝達し、適切な対応を要請する。必要に応じ、工場の見学や排ガスデータ等の提供依頼等を行っていく。

### 対応(リサイクル推進委員会)

◇ごみの分別に関する研修会やチラシの配布等により引き続き住民の啓発活動を実施する。

◇新たに「美化評議会」を設置し、ごみステーションの美化100%を目標に活動する。



ごみ出しマナーPR(リサイクル推進委員会)

## 5. 防災

### 課題

- 1) 避難訓練の実効性改善、参加者の拡充
- 2) 避難所の明示、避難ルートの路上表示
- 3) 避難情報の周知迅速化、自治会会員以外への呼びかけ
- 4) 冠水しやすい場所への水深ゲージの設置

### 対応(自主防災会)

◇2019年の台風19号災害の経験を踏まえ、新たに「陽東地区防災計画」を策定し、避難訓練の充実改善や避難所の明示等を進めていく。

◇避難情報発令時の連絡網の整備を図るとともに、「防災ラジオ」の普及促進に努める。

◇水深ゲージの新たな設置が必要な場所を調査確認し、市と協議していく。



災害時避難訓練(防災部会)

## 6. 防犯

### 課題

- 1) パトロールの充実強化(パトランの実施)
- 2) 防犯カメラ・防犯灯の設置促進
- 3) 子どもの逃げ場としてのコンビニ活用
- 4) 特殊詐欺の防止

### 対応(防犯ネットワーク)

◇パトラン(ジョギング兼パトロール)用の夜光タスキを作成し、ボランティア2名が実施中。さらに普及拡充を図っていく。

◇各自治会において、市の助成により必要な防犯カメラ・防犯灯の設置促進を図っていく。

◇陽東小PTAと連携し、コンビニなどの協力を得ながら「こども110番」看板設置個所の増設を図っていく。

◇特殊詐欺防止のため、高齢者等へPRを推進する。



こども110番看板



地区内夜回り巡回(防災部会)

対応策  
(協議会で活動する取組み)

例

テーマ

対応策（協議会で活動する取組み）

- ・ **防犯防災** : ★防犯カメラ、街灯の設置、★消防団の統廃合 等
- ・ **保健福祉** : ★みんなが集まれる場づくり、★高齢者への定期的な声掛け 等
- ・ **環境衛生** : ★ゴミ不法投棄禁止看板の設置、★河川、遊具等の環境整備 等
- ・ **生涯学習** : 地域の中心となるリーダーの育成、公民館の活用、 等
- ・ **多文化共生** : 多国籍料理教室、交流イベント 等  
（※多文化共生…異なる国籍の方がお互いの文化的な違いを尊重し、対等な関係を築きながら地域社会の一員として共に生きていくこと。）
- ・ **情報発信** : SNSを利用した情報発信 等

**「桜まつりin豊田」は、桜のライトアップと一緒に、以下の活動を実施予定！**

- ・ 防犯防災：ハザードマップや非常食の配付・ランタン作り
- ・ 保健福祉：高齢者の送迎
- ・ 環境衛生：会場の除草、ゴミ拾い

# 飯沼地区の目指す姿は？

例

ずっと住みたい このまち 飯沼

住民がともに支え合い、明るく活力のあるまち 飯沼

1. 「この地域で暮らすあなたにとって地域で起きているどのようなことに関心がありますか？」

【飯沼地区】

1	地域のコミュニケーションが少ない
2	道路問題（修理が必要、暗い）
3	車がないと不便
4	地域内の情報共有ができていない
5	空き家の増加
6	耕作放棄地の増加
7	高齢者の増加
8	消防団について
9	盗難の増加
10	公民館の利用が少ない

【全体】

1	地区内のコミュニケーションが取れていない
2	道路の危険箇所、道路の除草
3	ゴミ問題（ゴミの捨て方、産業廃棄物の捨て方等）
4	子供が少ない
5	役員の担い手不足
6	空き家問題（空き家の増加、防犯、火災）
7	買い物問題（お店が遠い等）
8	高齢者の増加、一人暮らしの高齢者の増加
9	公共交通（移動問題、コミュニティバス）
10	祭りやイベントがない、参加者少ない



2. 「あなたが暮らしたいまちはどんなまちですか？」

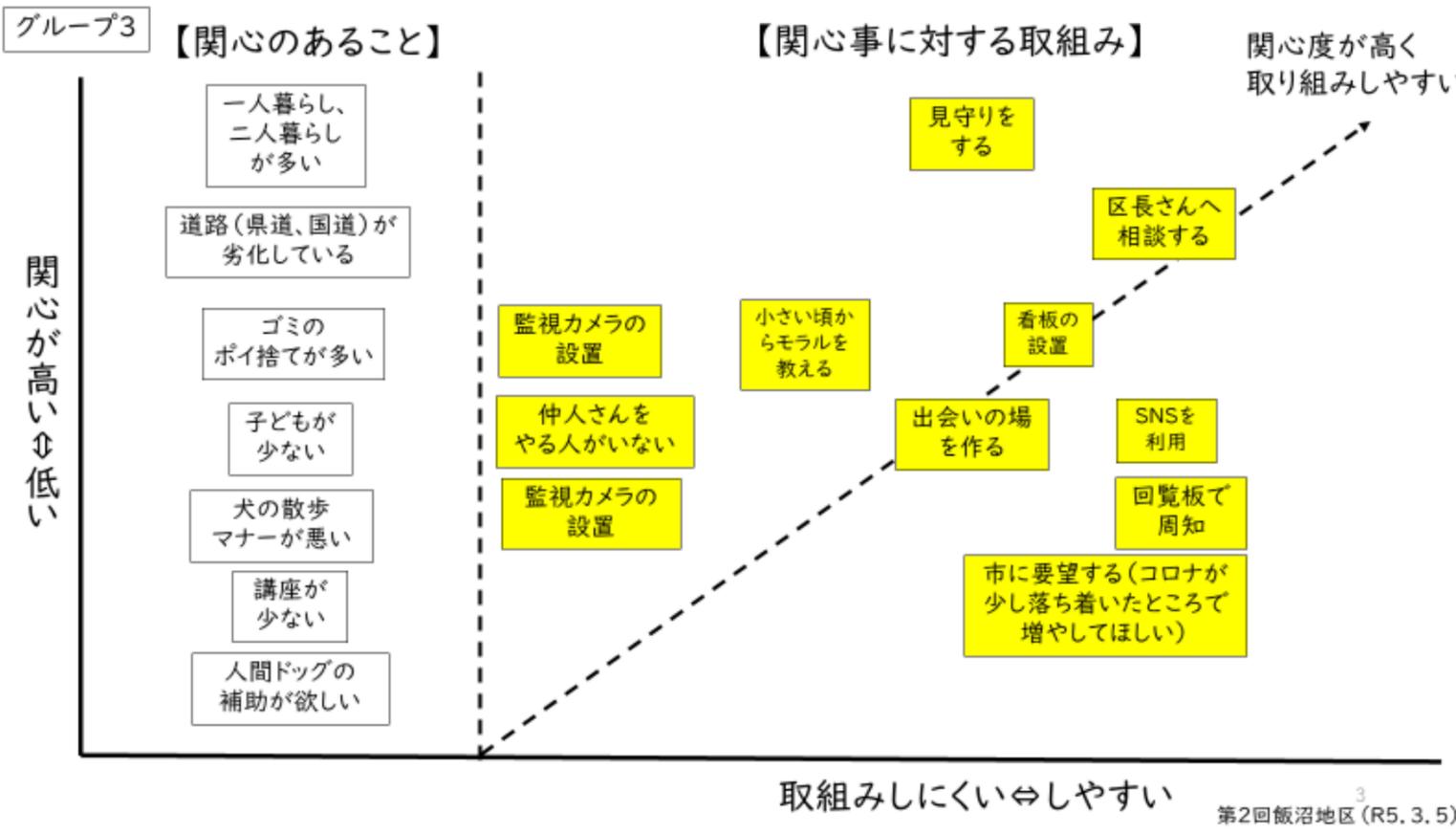
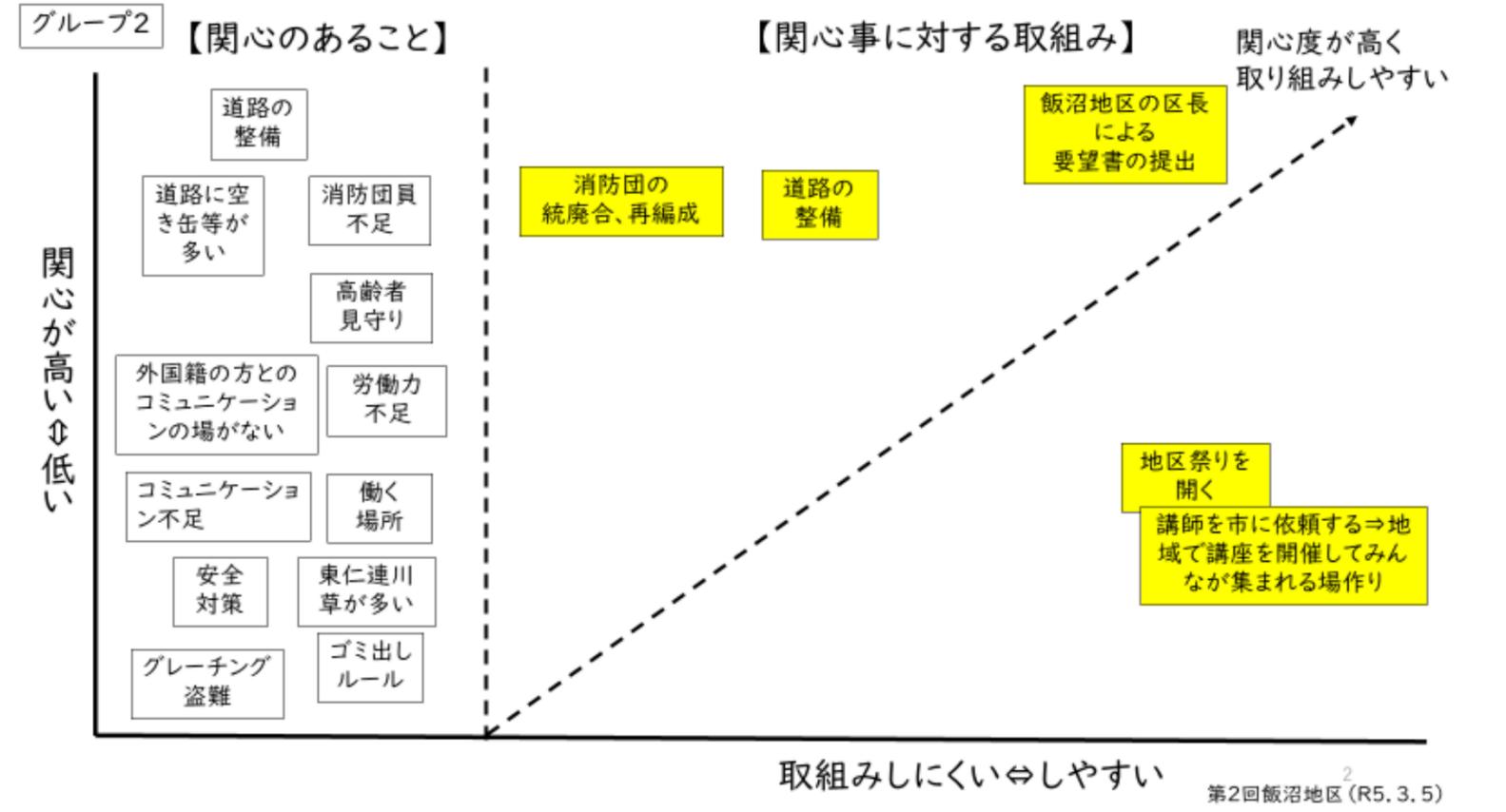
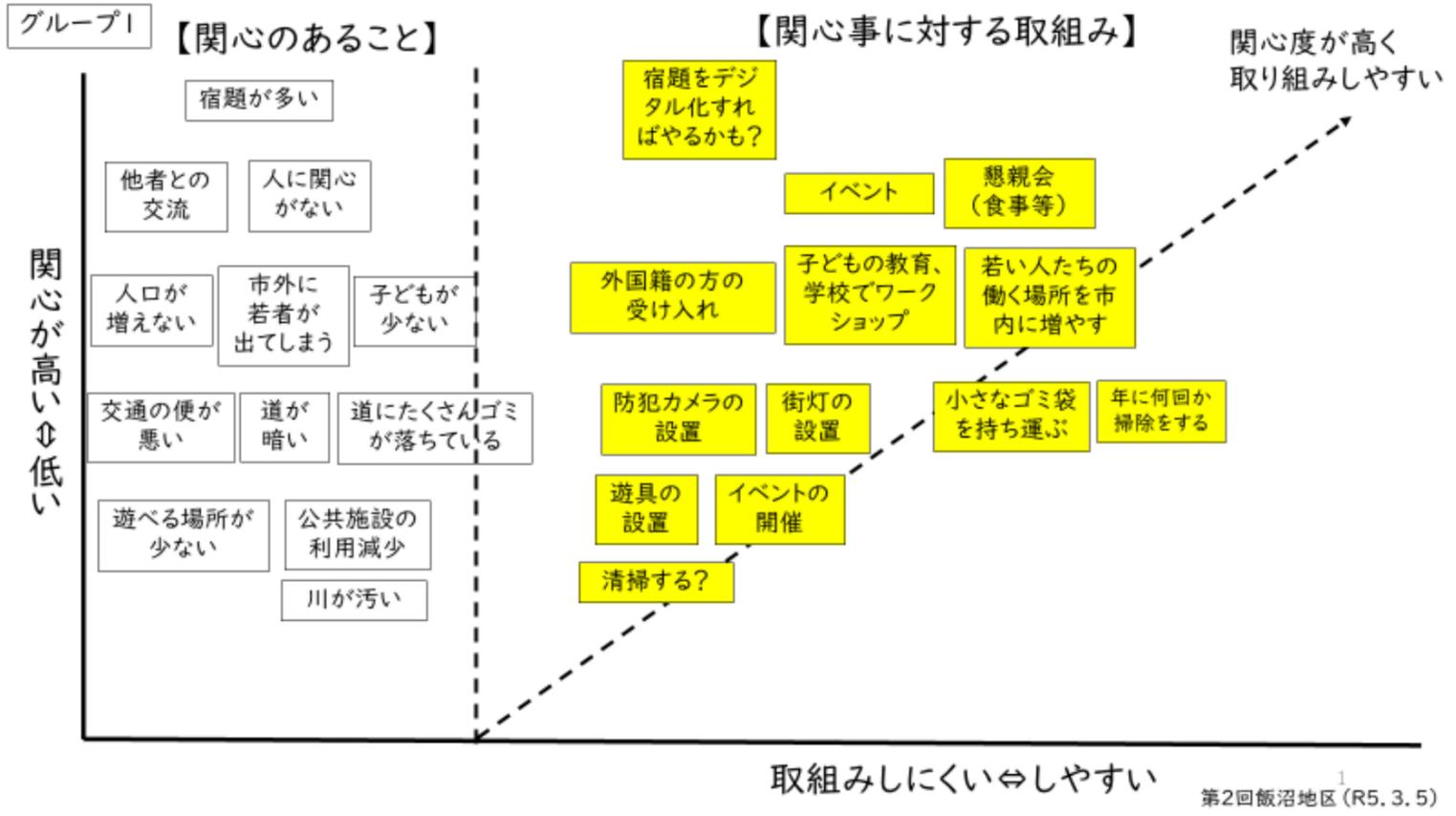
【飯沼地区】

1	公共交通が充実しているまち
2	買い物が便利なまち
3	自然が美しいまち
4	地域の交流があるまち
5	困っているときに助け合えるまち
6	安全安心（交通事故が少ない）なまち

【全体】

1	地域内でコミュニケーションが取れるまち、つながりがあるまち
2	公共交通があるまち、交通の便がいいまち
3	買い物が便利なまち
4	子供たちが安心して過ごせるまち、子供の元気な声が聞こえるまち
5	医療・福祉が充実したまち、バリアフリーなまち
6	災害時に助け合えるまち、災害に強いまち
7	自然環境が豊かできれいなまち
8	老後も安心して暮らせる高齢者が元気なまち
9	安心して楽しく子育てができるまち
10	お祭りやイベントが楽しめるまち





第2回意見交換会  
令和5年3月5日

グループ4

【関心のあること】

【関心事に対する取組み】

関心度が高く  
取り組みしやすい

関心が高い⇕低い

- 空き家
- 耕作放棄地
- 高齢者世帯の増加
- 道路
- ゴミの不法投棄
- 防犯
- 公園の利用
- 人とのつながりが少ない

補助を出す  
借地賃料の公的補助

速やかな補修

防犯カメラ

無料開放日  
(コート運動場等)

大規模農家への連絡

神社の鳥居の設置

看板の設置

声掛けを定期的に行う。高齢者の要望、声を聞く

ネットで空き家情報を流す

花見会の開催

取り組みにくい⇕しやすい

第2回飯沼地区 (R5. 3. 5)

グループ5

【関心のあること】

【関心事に対する取組み】

関心度が高く  
取り組みしやすい

関心が高い⇕低い

- 交通の利便性
- 道路
- 川が汚い
- 世代間交流
- 人とのつながり
- 近所の遊具が少ない
- ゴミ出しのルール
- 近所の神社のこけが近所の道路にも広がっている
- 街灯が多く、明るい
- 行政の活動が見えない
- 通学時の交通安全

ゴミの個別収集

自治会での話し合い  
(神社の管理)

環境整備  
(河川、街灯、遊具)

通学時の見守り、  
高齢の方にも協力してもらう

シルバークラブの設置とメンバーによる見守り

立哨当番  
パパ・ママ⇒おじいちゃん、おばあちゃん、シルバー人材

市道なら市へ  
県道なら県へ伝える

コミュニティバスのルート

取り組みにくい⇕しやすい

第2回飯沼地区 (R5. 3. 5)



# 飯沼地区で活動する組織・団体

- 自治会
- 青少年育成市民会議
- 子ども会
- PTA
- 青少年相談員
- 民生委員・児童委員
- 社会福祉協議会支部
- 生活支援コーディネーター
- 介護予防推進員
- シルバークラブ
- 自主防災組織
- 消防団
- 交通安全協会
- 防犯協会
- NPO法人
- 鴻野山同友会（昔の青年団）
- 神社氏子
- スポーツ少年団
- 馬場新田友志会
- あととりの人の集まり など

## グループ1

### 団体の現状・抱える課題

<自治会>  
・次の役員となる人がいない  
・自治会の会合が少ない

<民生委員>  
一人暮らしの方の家族と連絡が取りにくい

<消防団>  
団員が減少

<青年会>  
活動がない  
若者が入らない

<氏子>  
仕事が大変

### 団体が連携して取り組んでいること

<自治会+消防団>  
団員募集

<社協+民生委員>  
グラウンドゴルフ、輪投げ

<自治会+青年会+氏子+子供会>  
子供相撲大会

### 今後、団体が連携して取り組めそうなこと

## グループ2

### 団体の現状・抱える課題

<鴻野山同友会、馬場新田友志会>  
長男（跡取）の人の集まり、50年位続いている。道路の草取りや飲み会、カラオケ大会など。  
70人⇒30人と減少

<子供会>  
人数が少なく、事業ができない

<消防団>  
団員不足

十七夜講の継続  
（雨引観音様の信仰）  
なくなっている地区もある

神社の会費が  
全戸分集まらない

### 団体が連携して取り組んでいること

鴻野山3自治会合同の  
神社例祭を行っている

### 今後、団体が連携して取り組めそうなこと

<シルバークラブ+子供会>  
ポッチャの大会で交流  
⇒見守りに繋がる

## グループ3

### 団体の現状・抱える課題

<鴻野山同友会>  
会員の減少

<子供会>  
・行事がない  
・少子化  
・外国籍の方が入らない

<消防団>  
未加入

<自治会>  
未加入⇒ゴミのポイ捨て

<民生委員>  
横のつながりが強い

### 団体が連携して取り組んでいること

<氏子+自治会+子供会+同友会>  
鴻野山まつり

### 今後、団体が連携して取り組めそうなこと

シルバー消防団を  
結成

女性消防団の  
救護活動

外国籍の方が働いている  
企業との交流し、  
地域のマナーや行事への  
参加を促す

グループ1

どんな人に意見交換会に参加してもらいたいですか？

- ・会社の会長または社長
- ・核家族世帯（後継ぎがない）
- ・10代の世代別男女
- ・小中学生と保護者
- ・小中学校の先生
- ・子育て世代
- ・高校生
- ・大学生
- ・一人住まいの方
- ・外国籍の方

その人に意見交換会に参加してもらうにはどうすればいいでしょうか？

- ・外国籍の方…企業に問い合わせ
- ・区長に相談する
- ・SNSで呼び掛け

あなたは誰に声かけをしますか？

- ・自治区長に声掛け
- ・子供会の会長
- ・区長経験者

グループ2

どんな人に意見交換会に参加してもらいたいですか？

- ・自治会役員
- ・20～30代の方たち
- ・小中学生の保護者
- ・外国籍の子と保護者
- ・子育て世代
- ・高校生
- ・お元気な80歳以上の方

その人に意見交換会に参加してもらうにはどうすればいいでしょうか？

- ・グループごとに参加を声掛け
- ・小中学校にお願いをして保護者に参加してもらう
- ・チラシの工夫
- ・事前申込不要にしてみる
- ・当日参加をチラシに記入
- ・チラシに話し合いのテーマを書く

あなたは誰に声かけをしますか？

- ・近所の人
- ・民生委員の仲間
- ・PTA
- ・子供会
- ・小中学校の先生
- ・同友会（鴻野山）代表の方
- ・市役所から区長さんに



第4回意見交換会  
令和6年7月28日